

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立春日出小学校 学校協議会

1 総括についての評価

今年度は、運動会、縦割り班活動、大縄週間、スマイルフェスティバルなどを通して、当該学年での活動だけでなく異学年での活動も行い、豊かな心を育む取り組みを進めることができました。学力については、全国学力・学習状況調査と小学校学力経年調査の結果を見ると、各学年良い結果が出ている。令和7年度は、昨年度に引き続き、研究教科を国語科とした。また、体力について、学級遊びや縄跳び週間、大縄週間、長距離走など、持久力向上の取り組みを行った。しかし、体力テストでの結果を見ると、持久力向上のための取り組みの工夫が感じられた。

今後も、子どもたちの学力・体力を向上させ、豊かな心を育み、元気に学校生活を送れるよう、学校の努力と保護者、地域の協力により子どもたちを支えていく。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価+

【安全・安心な教育の推進】

本校の年度目標

- ① 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。
(R6年度 3年81.6% 4年83.6% 5年63.8% 6年86.8% 平均78.9%)
(R7年度 3年83.1% 4年88.7% 5年93.8% 6年79.6% 平均86.3%)
- ② 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
(R6年度7人) (R7年度2人)
- ③ 小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を96%以上にする。
(R6年度 3年91.8% 4年91.8% 5年93.7% 6年89.5% 平均91.7%)
(R7年度 3年94.9% 4年92.5% 5年95.4% 6年95.9% 平均94.7%)

- 子どもたちへの関わりなど、先生たちが頑張っているのがわかる。
- 縦割り班の取り組みは子どもたちにとって良い取り組みである。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

本校の年度目標

- ① 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を35%以上にする。
(R6年度 3年 36.7% 4年 36.1% 5年 25.5% 6年 28.9% 平均 31.8%)
(R7年度 3年 35.6% 4年 37.7% 5年 36.9% 6年 42.9% 平均 38.2%)
- ② 小学校学力経年調査における、「国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント向上させる。
(R6年度 3年 -4.9ポイント 4年 +4ポイント 5年 +5.5ポイント)
(R7年度 4年 +12.8ポイント 5年 +3.1ポイント 6年 +4.2ポイント)
- ③ 小学校学力経年調査における、「毎日、同じぐらいの時刻にねて、同じぐらいの時刻に起きていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。
(R6年度 3年 77.6% 4年 68.8% 5年 78.8% 6年 73.3% 平均 74.6%)
(R7年度 3年 67.8% 4年 73.6% 5年 70.8% 6年 83.6% 平均 73.9%)

- 学力面の成果が素晴らしい。
- 国語科以外の算数科も上がっている。
- 学力がよく伸びている。1年でこんなに成長するとは。
- 生活習慣が昔とは変わっている。
- 同じ時間に起きるように心がけていかないと。

【学びを支える教育環境の充実】

本校の年度目標

- ① 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の75%以上にする。 (R7年度 94.6%)
- ② 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる、教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を100%にする。 (R6年度 100%) (R7年度 100%)

- パソコンやタブレットの活用が高い。
- 使っている学校とそうでない学校との差は、子どもたちにとって大きいのでは。
- デジタル化のよって一長一短はあるのではないか。
- 残業が減っているということはいいことだ。

3 今後の学校運営についての意見

- 学力向上では素晴らしい成果があった。次年度も学力を向上させる取り組みを期待する。
- 学力は積み重ねが大事である。
- 全体的に落ち着いている。先生たちの頑張りではないか。